



2019年7月から、第2地域ロータリーコーディネーターを担当することになりましたRID2750、2015-16年度ガバナーの水野功です。どうぞよろしくお願い致します。最初に第2地域のコーディネーター補佐3名の方をご紹介します。

剣田廣喜氏 (RID2630 2016-17年度ガバナー、ニックネームKEN)

神野重行氏 (RID2760 2017-18年度ガバナー、ニックネームSHIGE)

松坂順一氏 (RID2580 2018-19年度ガバナー、ニックネームJUN) の3名の方々です。

各地区の様々なセミナーやグループでのIMなど、会員増強・維持、クラブ基盤の強化など、幅広いテーマの講師として、出来る限りのサポートをさせていただき所存ですので、お気軽にお声がけをお願い致します。また、各地区での新クラブや衛星クラブの拡大やローターアクトの活躍などの情報を共有させていただきたく存じます。日本事務局とも十分に連携して、これらの情報発信を強化したいと思います。

些か、旧聞になりますが、3月の地域リーダー研修では、マローニー会長から「共につながり、共に成長しよう」との力強いメッセージが出され、同時に地区会員増強委員長宛てに、「GROW」と書かれたブルーのバッジを手渡され、各地区のガバナーと地区会員増強委員長にお届けしました。セミナーでは是非、ご着用いただきたくお願い致します。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。時代にあったクラブの拡大は各地区の会員増強にとって大変、実効性の高いものと考えます。2016年の規定審議会において、クラブの自由裁量権の拡大や柔軟性が認められましたが、多くの既存のクラブにとって、永年の慣行を変えるには多大な労力が必要であり、コンセンサスを取るのが難しいことが多いように感じています。例会時間や昼食の選択性など若い世代が入会しやすいクラブが必要と感じています。

クラブ拡大は、各地区の戦略計画に沿って、ガバナー、エレクト、ノミーが連携して、計画を立てる必要があります。単年度では難しいと考えます。マローニー会長は、既存のクラブが存在する地域にあっても、時代に合った新クラブの創設が必要であると強調されています。是非、クラブ拡大や衛星クラブの創設を考慮いただきたく思います。

また、「ロータリーの友」11月号に100周年実行委員会が実施したアンケート結果が掲載されましたが、その中で最も印象的であったのは、各クラブとも会員増強・維持あるいはクラブ運営の問題意識は高いが、どのクラブもリーダーシップが課題であると指摘されていたことです。同年8月号に、会員増強の成功例として大宮西RCの取り組みが掲載されていますが、強力なリーダーシップが会員増強には何より不可欠である具体例が示されています。各地区・クラブに置かれては会長、会員増強委員長が強いリーダーシップを発揮され、実り多き年度となりますことを期待しております。

第2地域ロータリーコーディネーター 水野 功

ロータリーファミリー全員によるファンドレイジング - 『ワールド・フード+ふれ愛フェスタ』(WFF)

当地区では毎年名古屋市中心部の公園でファンドレイジングのイベントを開催しています。第6回は昨年10月27日と28日の2日間。好天に恵まれ、約7万人の来場者で盛り上がる中、協賛チケット、広告協賛、会場での寄付金などすべて前年度を上回り過去最高を記録しました。収益金は毎回ポリオ根絶への寄付とアジアの子供たちへの支援事業に使われており、今回はポリオ根絶基金への寄付(2万ドル)に加えパキスタンでの教育支援(3万ドル)を行いました。

地区内のロータリアンのほかインターアクター、ローターアクターや米山奨学生をはじめすべてのロータリーファミリー全員が協力するお祭りで、会場内に多数仕込まれた「あと少し」の広報パネルとともに「ロータリーの認知度&公共イメージの向上」という大きな役割も果たしています。

特に昨年は『ポリオ根絶大使』のジュディ・オングさんにもご参加いただいてポリオ根絶活動について熱弁を振るっていただくとともに募金活動に参加いただきました。またジュディさんを招いてのチャリティディナー『エンドポリオ・ナイト』ではパキスタン、フィリピン、インドネシアから集まったロータリアンたちを含め200名を超える出席者たちから多額の寄付が集まりました。

収益金で寄贈したRotary Mobile Library Unitには図書やタブレット、LEDスクリーンその他、ポリオワクチンの保冷库も装備されており、遠隔地での教育支援とポリオ根絶の2つの役割を担っています。5月に当地区からの有志6名がパキスタンを訪れ、4台を寄贈してきましたが、必死にポリオ根絶や人道的支援活動に取り組む現地ロータリアンたちの熱い姿と温かいもてなしに感動したそうです。

ポリオ根絶まで『あと少し』。当地区では今年度もWFFの収益金でポリオ根絶基金への寄付とパキスタンでの教育支援事業を行います。そしてWFFを通してロータリーの認知度&公共イメージの向上をめざします。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一